

# 研究全体構想図

## 【学校の教育目標】

よく考え 認め合い 誠実にやりとおす  
合い言葉

さわやか多中

- た たくましく（掃除）
- じ 自分から進んで（挨拶）
- み みんなと共に（合唱）
- ち 地域を愛し（ボランティア）
- ゆ 夢に向かって（授業）
- う 動く生徒

## 【多治見市教育の方針と重点】

### 《方針》

子ども一人ひとりが自己充実感をもつ  
教育を推進する。

### 《重点》

所属感を高め、よりよい生活や望まし  
い人間関係を築こうとする自主的、実  
践的な態度を育てる。

## 【生徒の実態】

- 素直で、学校生活のルールを守りながら、落ち着いた生活を送ることができる。
- “日常と行事は両輪”を合い言葉に、リーダーを中心として、質の高い姿を目指そうとしている。
- 自己肯定感が低いため自信をもてない生徒が多く、自ら積極的に動いて活動しようとすることに弱さがみられる。

## 【研究主題】

願いをもち自他の良さを認めあいながら、主体的に活動する生徒の育成

## 【めざす生徒の姿】

- ・自分たちの生活をより高めていこうという願いをもち続ける姿
- ・仲間の立場になって思いを理解し、仲間と共に活動に取り組む姿
- ・自分の行動に自信をもち、よりよい活動を生みだそうと主体的に活動する姿

## 【研究仮説】

様々な学級での活動を通して、学級目標に照らして自分たちの課題を見つけ出す。それらの課題に対し、自分や仲間の良さを生かした解決策を見いだして仲間と共に活動する。活動の終末には、適切な評価を行い、自他の成長を認めあう。こうした活動を継続的に行うことで、主体的に活動する生徒が育成される。

## 【研究内容】

1. 話し合いの場を設定し、思考力・判断力・表現力を高める工夫

(1) 朝の会・帰りの会

(2) 年間指導計画

2. 話し合いに関する知識や技能を高める工夫

(1) 話し方の指導

(2) リーダー指導

3. 話し合いに向かう意欲を高める評価の工夫

(1) 学級の状況評価

(2) 話し合い活動の評価